

公益社団法人全日本広告連盟
令和2年度 事業報告書

自：令和2年4月1日

至：令和3年3月31日

- I. 主な活動
- II. 組織状況
- III. 業務執行体制等

令和2年度事業報告

公益社団法人全日本広告連盟（全広連）は、事務局業務全般を正会員の中核である公益社団法人東京広告協会に委託し運営を進め、令和2年度事業活動を8ブロック会議において検討、理事会の承認を経て、全国37広告協会の支援・協力のもと全面的な公益事業の実施を見据えつつ、以下の事業活動を推進した。

I. 主な活動

1. 講座・シンポジウム・全国大会等（定款第4条第1項）

(1) 第31回（令和2年度）全広連夏期広告大学

第31回全広連夏期広告大学は、（公財）吉田秀雄記念事業財団の協賛を受け、富山（令和2年8月4日・富山広告協会）、愛媛（11月4日・愛媛広告協会）、大阪（11月16日・大阪広告協会）の3地区で開催地広告協会との共催により開催した。

令和2年度も、共催する各広告協会の意向を汲んだ講義内容を地区ごとに構築し、富山では「言葉の技術について ～今、言葉の力をつけるために必要なこと～」、愛媛では「デジタルシフトと地域コンテンツのこれから」、大阪では「命と経済を守るデータ活用が関西活性化の鍵」のテーマのもと、各協会の会員をはじめ一般、学生の参加者は3地区で述べ288名を数えた。また、新型コロナウイルスの影響により、実開催に加えて講演映像のオンライン配信も行った。

(2) 第13回（令和2年度）全広連秋のシンポジウム

13回目を迎えた全広連秋のシンポジウムは、（公財）吉田秀雄記念事業財団の協賛を受け、開催地広告協会との共催により令和2年12月3日・新潟（新潟広告協会）及び12月9日・秋田（秋田広告協会）の2地区で開催した。

夏期広告大学と同様、開催地広告協会の意向を汲み、新潟では「新型ウィルス禍の今こそ、デザイン経営を」、秋田では「クリエイティビティの拡張について ～地域発イノベーションの可能性を拓く」をテーマとして両地区とも講師によるトークセッションなどを実施、各地域の協会会員をはじめ学生や一般から延べ184名の参加があった。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、秋田ではオンライン配信も行った。

(3) 第68回全日本広告連盟ふくしま大会

第68回全日本広告連盟ふくしま大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一堂に会することを取り止め、事前に収録した映像をインターネットで配信する形で令和2年5月21日に大会テーマ「つくる！広告で、未来100年。～2020ふくしま発～」のもと開催、5月21日から28日まで行った動画配信の視聴回数は1,959回を数えた。

大会プログラムは、オープニング「福島挑戦2020」に続きふくしま大会組織委員会の高橋雅行副会長による開会のことばで幕を開け、同組織委員会の渡邊博美会長及び全広連の大平明理事長による主催者挨拶に続き、福島県の内堀雅雄知事からメッセージが述べられた後、映像「全広連の一年」により全広連の概要並びに令和元年度の事業活動を紹介した。

次に、第14回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞を#ThankYouFromKAMAISHI実行委員会に、同賞選考委員会特別賞を㈱福島民報社にそれぞれ贈賞し、受賞者を代表して#ThankYouFromKAMAISHI実行委員会より釜石市長の野田武則氏から受賞の言葉が述べられた。

次いで、第14回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞最優秀賞を中京テレビ放送㈱に、同優秀賞を九州旅客鉄道㈱にそれぞれ贈賞し、代表して中京テレビ放送㈱代表取締役社長の丸山公夫氏から受賞の言葉が述べられた。

続いて、第8回全広連日本宣伝賞の松下賞を大正製薬ホールディングス㈱代表取締役社長の上原明氏、正力賞を「ほぼ日刊イトイ新聞」主宰の糸井重里氏、吉田賞を(一社)ACC理事長の高田坦史氏、山名賞をクリエイティブディレクターの佐藤可士和氏にそれぞれ贈賞、各受賞者から謝辞が述べられた。

ダンスクルー・FabulousSistersによるアトラクションに引き続き、東洋システム㈱代表取締役の庄司秀樹氏による「バッテリー産業を通じた福島の未来づくり」と題した記念講演を実施した後、次回第69回全広連山陰大会の開催地紹介が行われ、同大会組織委員会の松尾倫男会長から挨拶が述べられた。

最後に、渡邊博美会長によるふくしま宣言が行われ、ふくしま大会組織委員会の五阿弥宏安副会長による閉会のことばで閉会となった。

2. 広告倫理等普及啓発（定款第4条第2項）

(1) 第14回（令和2年）全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞の贈呈

広告活動の発展のため、斬新な広告企画や大きな成果をあげた広告キャンペーン等を実施した会員社などを顕彰する第14回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞は、13協会15作品の応募の中から「#ThankYouFromKAMAISHI」を実施した#ThankYouFromKAMAISHI実行委員会（岩手広告協会応募）を、また、同賞選考委員会特別賞には「防災・減災キャンペ

ーン」を実施した㈱福島民報社（福島広告協会応募）を選出し、令和2年5月21日の第68回全広連ふくしま大会で贈賞した。

(2) 第14回（令和2年）全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞の贈呈

地域のクリエイティブ活動の発展・向上を図るため、各地広告協会が推薦する優秀なクリエイティブ作品の広告主企業を顕彰する第14回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞は、14協会推薦による32作品の応募の中から最優秀賞に愛知広告協会推薦の中京テレビ放送㈱による「BREAST CANCER CHECK！」（ポスター）を、優秀賞に福岡広告協会推薦の九州旅客鉄道㈱による「熊本フォーリンラブ」（テレビCM）を選出し、令和2年5月21日の第68回全広連ふくしま大会で贈賞した。

(3) 第8回（令和2年）全広連日本宣伝賞の贈呈

広告の社会的使命の促進に係る広告界の向上・発展に尽くし寄与した功績を顕彰する第8回全広連日本宣伝賞は、広告主を対象とする「松下賞」に上原明氏（大正製薬ホールディングス㈱代表取締役社長、大正製薬㈱取締役会長）を、媒体社・メディア関係会社及びイベント・コンテンツのプロデューサーを対象とする「正力賞」に糸井重里氏（「ほぼ日刊イトイ新聞」主宰、㈱ほぼ日代表取締役社長）を、広告関連会社を対象とする「吉田賞」に高田坦史氏（(一社)ACC理事長）を、クリエイターを対象とする「山名賞」に佐藤可土和氏（クリエイティブディレクター）を選出し、令和2年5月21日の第68回全広連ふくしま大会で贈賞した。

なお、第9回全広連日本宣伝賞選考委員会にて受賞者を選考するにあたり、各賞の候補者について正会員である各地広告協会を通じ広く推薦を募ったほか、「山名賞」はその専門性に鑑み「選考準備委員会」で事前選考を専門家により行い佐藤雅彦氏を選出、「第9回全広連日本宣伝賞選考委員会」に上程し授賞を決定した。

3. 支援助成（定款第4条第3項）

(1) 助成金支給

広告に関する学問研究の発展のため日本広告学会の活動の費用を助成したほか、全広連助成金については各地域社会への貢献を目的とする公益目的事業の費用の一部として令和元年度中に8ブロック会議で支給額をまとめ、理事会の承認を得て、申請のあった7協会に支給した。

(2) 各地広告協会主催セミナー・講演会への講師派遣

各地広告協会の活動を支援するため、各地からのセミナー・講演会等への講師要請に応え、

5 協会 9 事業に講師を手配、派遣した。

①愛知広告協会

第7回愛広協実践広告ワークショップ<※令和元年度助成金支給対象事業(新型コロナウイルスの影響の為)>
令和2年7月22日、形式・Zoomによるオンライン審査

講師 石塚美代子氏 (三菱電機(株)宣伝部BtoCコミュニケーショングループグループマネージャー)

須田和博氏 (株博報堂ブランド・イノベーションデザイン局エグゼクティブ・クリエイティブディレクター/スダラボ代表エグゼクティブ・クリエイティブディレクター)

土橋通仁氏 (株電通中部支社顧客ビジネス局グループ・クリエイティブディレクター)

岩田正一氏 (株新東通信スケッチ代表取締役プロデューサー/クリエイティブディレクター/コピーライター)

②静岡県広告協会

2020年度広告講座 静岡会場

令和2年10月20日、於・静岡市/静岡商工会議所 (参加者40名)

演題 「新型コロナに負けないために ～eスポーツで今、何ができるか～」

講師 浜村弘一氏 ((一社)日本eスポーツ連合 (JeSU) 副会長)

③静岡県広告協会

2020年度広告講座 沼津会場

令和2年11月6日、於・沼津市/プラサヴェルデ (参加者70名)

演題 「新型コロナに負けないために ～eスポーツで今、何ができるか～」

講師 浜村弘一氏 ((一社)日本eスポーツ連合 (JeSU) 副会長)

④徳島広告協会

徳島広告協会/徳島新聞アド・クラブ合同WEB講演会

令和2年11月19日、形式・ウェビナー

演題 「共感/実感コミュニケーションの作り方」

講師 土橋通仁氏 (株電通中部支社クリエイティブディレクター/アートディレクター)

⑤山形広告協会

山形広告セミナー

令和3年2月19日、形式・ウェビナー

演題 「アホがつくる街と広告」

講師 日下慶太氏 (株電通関西支社コピーライター)

⑥愛知広告協会

第8回愛広協実践広告ワークショップ <※令和2年度助成金支給対象事業>

令和3年2月27日、形式・Zoomによるオンライン開催 (受講生29名)

講師 田中英成氏 (株メニコン取締役代表執行役社長)

須田和博氏 (株博報堂ブランド・イノベーションデザイン局エグゼクティブ・クリエイティブディレクター/スダラボ代表)

土橋通仁氏 (株電通中部支社グループクリエイティブディレクター/コピーライター)

⑦京都広告協会

春期アド・フォーラム <※令和2年度助成金支給対象事業>

令和3年3月16日、於・京都市/からすま京都ホテル (参加者104名)

テーマ 「“コロナ” 後のコミュニケーション」

講演① 「生活者変化からアフターコロナを展望する」

講師 内濱大輔氏（㈱博報堂生活総合研究所上席研究員）

講演② 「コロナ禍における日本の『独立性』と『協調性』のゆくえ」

講師 内田由紀子氏（京都大学こころの未来研究センター教授）

トークセッション 内濱大輔氏×内田由紀子氏×平野智美氏（㈱京都放送アナウンサー）

⑧静岡県広告協会

2020年度「広告研修会」

令和3年3月18日、於・静岡商工会議所5階ホール（参加者35名）

演題 「Withコロナ時代のコミュニケーション～ファンベースの視点から～」

講師 佐藤尚之氏（コミュニケーションディレクター）

⑨愛知広告協会

第8回愛広協実践広告ワークショップ <※令和2年度助成金支給対象事業>

令和3年4月3日、形式・Zoomによるオンライン開催（受講生29名）

講師 田中英成氏（㈱メニコン取締役代表執行役社長）

須田和博氏（㈱博報堂ブランド・イノベーションデザイン局エグゼクティブ・クリエイティブディレクター／スタラボ代表）

土橋通仁氏（㈱電通中部支社グループクリエイティブディレクター／コピーライター）

岩田正一氏（㈱新東通信スケッチ代表取締役／クリエイティブディレクター／事業構想大学院大学特任教授）

4. 連絡交流（定款第4条第4項）

(1) 関係官公庁への要望活動

全広連をはじめとする広告・報道関係8団体（全広連、日本アドバタイザーズ協会、日本新聞協会、日本民間放送連盟、日本雑誌協会、日本雑誌広告協会、日本広告業協会、日本屋外広告業団体連合会）で情勢を静観し情報を共有している広告課税問題について、令和3年度税制においては広告に対し課税に向かう具体的な動きは出なかったため、課税に反対する要望活動は行わなかった。当面は8団体それぞれが引き続き情勢を静観し、変化が生じた際に連携をとって対応できる態勢を各団体が整えておくことになっている。

(2) 関係官公庁への協力活動

下記の諸官庁ならびに広告団体の事業に協力、後援を行った。

- ① 内閣府からの会員への周知依頼に協力
- ② 経済産業省からの各種調査及び会員への周知依頼に協力
- ③ 厚生労働省からの会員への周知依頼に協力
- ④ 国土交通省の「屋外広告物適正化旬間」に協力
- ⑤ 総務省の「体力づくり国民会議」運動に協力
- ⑥ 日本屋外広告業団体連合会の第47回「屋外広告の日」キャンペーンを後援
- ⑦ 日本サイン・デザイン協会の「第54回SDA賞」を後援

(3) 関係団体との協力、連絡及び交流

広告関係23団体と定期的に会合を開いて情報交換を行った。例年広告関係28団体とともに開催している「広告界合同年賀会」は、新型コロナウイルスの影響により中止した。

(4) アジア太平洋広告祭

タイ・パタヤにて2021年3月に予定されていた第24回アジア太平洋広告祭(ADFEST2021)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響でフェスティバル開催が中止となり、オンラインで贈賞セレモニーが行われたため、全広連主催の参加研修ツアーは中止した。ただし、日本からのADFEST2021への作品エントリーに便宜を図るため、英文で発表される応募要項等の和訳版を作成し全広連ウェブサイト公開した。

また、同時期にタイ・パタヤでADFEST2021と併催される若手クリエイター対象の広告コンペティションYoung Lotus Workshop2021も開催中止となったため、全広連が日本代表チーム派遣のために実施している一連のプログラム(国内コンペ、選考会、及びPreADFEST)についても中止した。

(5) アジア広告会議

アジア広告協会連盟(AFAA)が2021年12月にマカオで開催予定の「第32回アジア広告会議(AdAsia2021)」に対し協力した。

5. 情報発信(定款第4条第5項)

(1) 機関誌「全広連」の発行

全広連活動の報告、各地広告協会活動の紹介、及び広告界の動向解説等を掲載した機関誌「全広連」の通巻1087号~1092号を隔月刊として奇数月の5日付で発行し、各地37広告協会の会員をはじめ関係団体、諸官庁、図書館、広告関係者や一般に向けて配布した。

(2) WEBサイト

WEBサイトを随時更新し、講座・シンポジウム・全国大会等の開催告知及び参加募集、当連盟概要、機関誌など当連盟の最新情報を公開したほか、正会員である加盟各地37広告協会の情報を掲載し、会員にとどまらず広く一般に向け発信した。

このほか、一般紙及び業界紙(誌)宛にニュースリリースを発信し、事業活動のPRに努めた。

6. 「全広連名鑑」の刊行（定款第4条第6項）

北は北海道から南は沖縄まで、全広連加盟37広告協会の会員名簿「全広連名鑑」の第45巻、令和2年版を刊行した。会員名簿のほか全広連関係資料、広告統計資料、広告関係の公共機関並びに関連団体の所在地などを例年どおり掲載した。

7. 総会・理事会・8ブロック会議・事務局長会議

(1) 総会

令和2年度の総会は、次のとおり決議の省略により2回（通常総会1回、臨時総会1回）行い、いずれの議案も全正会員一致の同意により承認した。

i) 第68回通常総会（書面による全正会員からの同意に基づく決議の省略）

令和2年5月18日、理事長が正会員（各地37広告協会）全員に対して総会決議の目的事項である下記2議案について提案書及び議案書を発し、6月8日までに正会員の全員から書面により同意する旨の意思表示を得たので、決議の省略の方法により当該提案を承認可決する旨の総会決議があったものとみなされた。

決議の目的事項

第1号議案 令和元年度決算書類承認の件

第2号議案 任期満了に伴う理事及び監事選任の件

ii) 令和2年度第1回臨時総会（書面による全正会員からの同意に基づく決議の省略）

令和2年10月27日、理事長が正会員（各地37広告協会）全員に対して総会決議の目的事項である下記2議案について提案書及び議案書を発し、12月2日までに正会員の全員から書面により同意する旨の意思表示を得たので、決議の省略の方法により当該提案を承認可決する旨の総会決議があったものとみなされた。

決議の目的事項

第1号議案 監事1名選任の件

第2号議案 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件

(2) 理事会

令和2年度の理事会は次のとおり4回行い、いずれの議案も出席理事全員一致で異議なく（決議の省略においては全理事一致の同意により）承認した。

i) 令和2年度第1回理事会（書面による全理事からの同意に基づく決議の省略）

令和2年4月20日、理事長が理事及び監事の全員に対して、理事会決議の目的事項である下記8議案について提案書及び議案書を発し、5月18日までに書面により理事全員から同意の旨、監事全員から異議がない旨の意思表示を得たので、提案された8議案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

決議の目的事項

- 第1号議案 令和元年度事業報告及び附属明細書承認の件
- 第2号議案 令和元年度決算書類承認の件
- 第3号議案 令和2年度補正収支予算承認の件
- 第4号議案 任期満了に伴う次期理事及び監事選任候補者の件
- 第5号議案 第68回通常総会の件
- 第6号議案 第69回（令和3年度）全広連大会開催概要の件
- 第7号議案 第14回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞受賞者の件
- 第8号議案 第14回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞受賞者の件

ii) 令和2年度第2回理事会（書面による全理事からの同意に基づく決議の省略）

令和2年5月18日、理事長が理事及び監事の全員に対して、理事会決議の目的事項である下記4議案について提案書を発し、6月8日までに書面により理事全員から同意の旨、監事全員から異議がない旨の意思表示を得たので、提案された4議案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

決議の目的事項

- 第1号議案 理事長選定の件
- 第2号議案 副理事長選定の件
- 第3号議案 筆頭執行理事選定の件
- 第4号議案 執行理事選定の件

iii) 令和2年度第3回理事会（書面による全理事からの同意に基づく決議の省略）

令和2年10月5日、理事長が理事及び監事の全員に対して、理事会決議の目的事項である下記8議案について提案書及び議案書を発し、10月23日までに書面により理事全員から同意の旨、監事全員から異議がない旨の意思表示を得たので、提案された8議案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

決議の目的事項

- 第1号議案 監事選任候補者の件
- 第2号議案 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件
- 第3号議案 令和2年度第1回臨時総会の招集及び付議議案の件
- 第4号議案 顧問選任の件

- 第5号議案 全広連日本宣伝賞選考委員会委員選任の件
- 第6号議案 賛助会員口数変更の件
- 第7号議案 「鈴木三郎助全広連地域広告大賞贈賞規程」制定の件
- 第8号議案 「法人クレジットカードの利用及び管理に関する規程」制定の件

iv) 令和2年度第4回理事会

日時 令和3年3月10日 午後2時～3時

場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）

理事総数 13名（定足数：7名）

出席理事数 12名、出席監事数 2名

議題 決議事項

- 第1号議案 「事務局業務委託契約書」一部改正及び再締結の件
- 第2号議案 令和3年度全広連助成金支給の件
- 第3号議案 令和3年度事業計画書承認の件
- 第4号議案 令和3年度収支予算書等承認の件
- 第5号議案 ブロック代表者選任の件
- 第6号議案 全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会委員選任の件
- 第7号議案 全広連日本宣伝賞選考委員会次期委員選任の件
- 第8号議案 第71回（令和5・2023年）全広連大会開催地協会の件
- 第9号議案 「鈴木三郎助全広連地域広告大賞贈賞規程」一部改正の件

報告事項

- (1)職務執行状況の報告
- (2)次回全広連理事会（4月20日）の件

(3) 8ブロック会議

令和2年度の8ブロック会議は次のとおり3回開催し、審議事項をいずれも代理出席者を含めた各ブロック代表者全員一致で異議なく了承した。

i) 第1回

日時 令和2年4月17日 午後1時～3時30分

場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）

議題 審議事項

1. 8ブロック会議議長並びに副議長の選任
2. 令和元年度事業報告の件
3. 令和元年度決算の件
4. 令和2年度補正収支予算の件

5. 任期満了に伴う次期理事及び監事候補者の件
 6. 第69回（令和3年）全広連大会開催概要の件
 7. 第14回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞受賞者の件
 8. 第14回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞受賞者の件
 9. 「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン／クリエイティブ大賞」今後についての件
 10. 全広連コンテンツの活用施策についての件
- 報告事項
11. 令和2年度第1回、第2回理事会
 12. 第68回通常総会
 13. 令和2年度・全広連夏期広告大学／秋のシンポジウム

ii) 第2回

日時 令和2年10月1日 午後1時30分～3時

場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）

議題 審議事項

1. 監事交代の件
2. 顧問選任候補者の件
3. 全広連日本宣伝賞選考委員会委員交代の件
4. 賛助会員口数変更の件
5. 「法人クレジットカードの利用及び管理に関する規程」制定の件
6. 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件
7. 「鈴木三郎助全広連地域広告大賞贈賞規程」制定の件
8. 令和2年度第3回理事会（みなし決議）実施の件
9. 全広連コンテンツの活用施策についての件
10. 「全広連名鑑」の今後についての件

報告事項

- ①第68回全広連ふくしま大会
- ②第31回（令和2年度）全広連夏期広告大学
- ③第13回（令和2年度）全広連秋のシンポジウム
- ④令和3年度税制・広告課税問題への対応
- ⑤その他

iii) 第3回

日時 令和3年3月1日 午後1時30分～3時20分

場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）

議題 審議事項

1. 「事務局業務委託契約書」一部改正の件
2. 令和3年度全広連助成金支給の件
3. 令和3年度事業計画案の件
4. 令和3年度収支予算案の件
5. ブロック代表者交代の件
6. 全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会委員交代の件
7. 全広連日本宣伝賞選考委員会・次期委員候補者の件
8. 第71回（令和5・2023年）全広連大会開催地協会の件
9. 「鈴木三郎助全広連地域広告大賞贈賞規程」一部改正の件
10. 令和2年度第4回理事会の件
11. 全広連夏期広告大学・秋のシンポジウムの年度計画の件
12. 「全広連名鑑」の今後についての件

報告事項

- ①第31回全広連夏期広告大学及び第13回全広連秋のシンポジウム（令和2年度）
 - ②第9回全広連日本宣伝賞受賞者
 - ③令和2年度全広連事業活動記録
- ※その他：全広連創立70周年（令和5・2023年）記念事業について

(4) 全国事務局長会議

春の事務局長会議は新型コロナウイルスの影響により開催を中止し議事資料を配布、秋の事務局長会議はオンラインで開催した。

i) 第113回全国事務局長会議

議事資料配布日 令和2年4月22日

- 議事
1. 令和2年度第1回理事会承認事項の件
 2. 令和2年度事業計画及び収支予算
 3. 8ブロック会議報告
 4. 令和元年度理事会結果報告
 5. 第68回通常総会の件
 6. 第68回全広連ふくしま大会の件
 7. 第69回全広連大会開催概要の件
 8. 第71回以降の全広連大会開催地の件
 9. 8ブロック代表の件
 10. 全広連キャンペーン大賞選考委員会委員の件
 11. 全広連「賛助会員」の件

12. 令和2年度全広連助成金申請の件
13. 第14回「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」受賞者の件
14. 第14回「全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞」受賞者の件
15. 第8回「全広連日本宣伝賞」受賞者の件
16. 第31回（令和2年度）全広連夏期広告大学、第13回（令和2年度）全広連秋のシンポジウムの件
17. 「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン/クリエイティブ大賞」今後についての件
18. 各地広告協会への支援事業報告
19. 海外関係
20. 次回全国事務局長会議の件

ii) 第114回全国事務局長会議

日時 令和2年11月24日 午後1時30分～3時45分

場所 オンライン開催（出席者全員がWEB会議システム・Zoomを使用して参加）

- 議事
1. 第68回全日本広告連盟ふくしま大会総括報告
 2. 第69回全日本広告連盟山陰大会の概要説明
 3. 8ブロック会議開催報告
 4. 令和2年度理事会結果報告
 5. 令和2年度総会報告
 6. 第69回通常総会日程の件
 7. 全広連「賛助会員」の件
 8. 第72回（令和6年）以降の全広連大会開催地協会の件
 9. 第31回（令和2年度）全広連夏期広告大学開催概要の報告と第32回（令和3年度）開催協会立候補要請の件
 10. 第13回（令和2年度）全広連秋のシンポジウム開催概要の報告と第14回（令和3年度）開催協会立候補要請の件
 11. 全広連「助成金」の件
 12. 支援助成事業の実施報告の件
 13. 令和3年度税制・広告課税問題への対応の件
 14. 第9回「全広連日本宣伝賞」各賞候補者推薦の件
 15. 「鈴木三郎助全広連地域広告大賞」の件
 16. 国際関係活動の件
 17. 今後の「全広連名鑑」のあり方等についての件
 18. 全広連ウェブサイト掲載用・各地広告協会情報更新への協力をお願い
 19. その他

II. 組織状況

令和2年度 役員一覧

(敬称略・順不同) ※令和3年3月31日現在

理事長	大平 明	(公社)東京広告協会理事長	東京・沖縄ブロック
副理事長	高橋 雅行	福島広告協会会長兼理事長	第68回大会開催地協会
	松尾 倫男	山陰広告協会会長	第69回大会開催地協会
筆頭執行理事	長崎 之保	(公社)東京広告協会顧問	東京・沖縄ブロック
執行理事	中井 良博	(公社)東京広告協会常務理事・事務局長	東京・沖縄ブロック
理 事	鹿又 久孝	仙台広告協会事務局長	北海道・東北ブロック
	片上 崇	(公社)東京広告協会理事	東京・沖縄ブロック
	西川 新	山梨広告協会専務理事	関東・甲信越ブロック
	田中正樹	(一社)愛知広告協会理事長	中部・東海・北陸ブロック
	井手 良昭	(公社)大阪広告協会専務理事	近畿ブロック
	橘 高知樹	広島広告協会理事長	中国ブロック
	山中 総	徳島広告協会理事	四国ブロック
	西山 治宏	福岡広告協会理事長	九州ブロック
監 事	阿部龍二郎	(公社)東京広告協会	東京・沖縄ブロック
	石村 泰利	静岡県広告協会事務局長	中部・東海・北陸ブロック

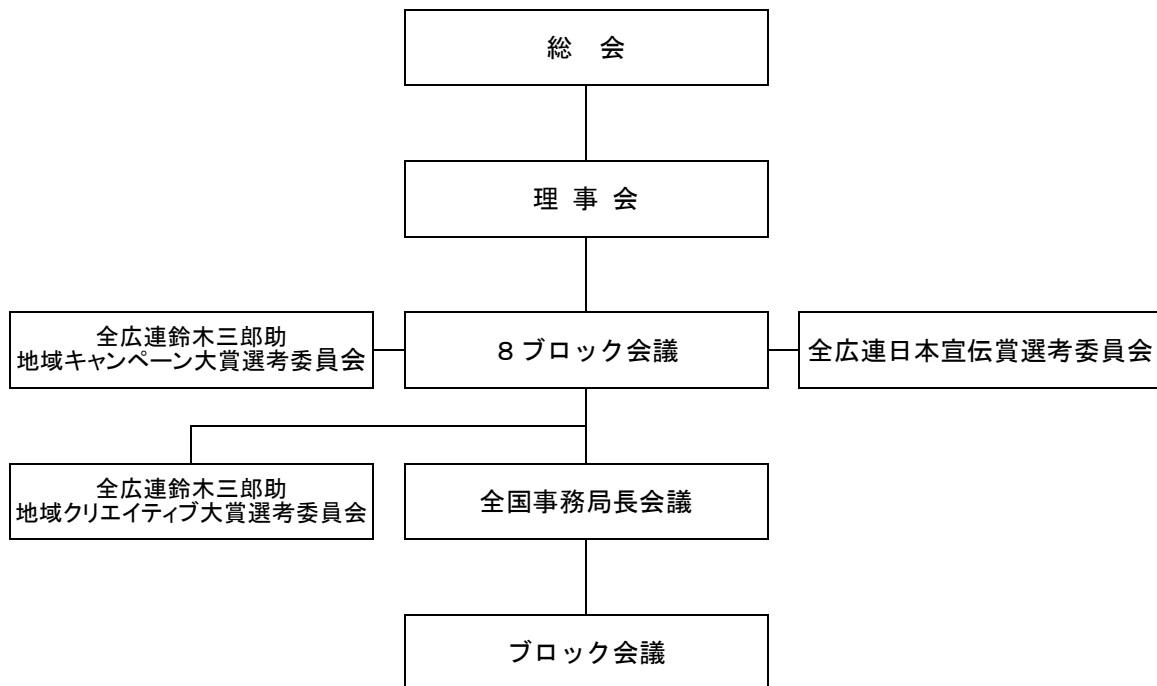
令和2年度 8ブロック代表者一覧

(敬称略・順不同) ※令和3年3月31日現在

■全広連8ブロック会議

議長	河口悦生	福岡広告協会事務局長	九州ブロック代表
副議長	中井良博	(公社)東京広告協会常務理事・事務局長	東京・沖縄ブロック代表
	鹿又久孝	仙台広告協会事務局長	北海道・東北ブロック代表
	早乙女謙司郎	千葉広告協会事務局長	関東・甲信越ブロック代表
	嵯峨 泰	(一社)愛知広告協会常務理事・事務局長	中部・東海・北陸ブロック代表
	粉生 茂	京都広告協会事務局長	近畿ブロック代表
	竹下修司	広島広告協会事務局長	中国ブロック代表
	尾池雅博	徳島広告協会事務局長	四国ブロック代表
	長崎之保	(公社)全日本広告連盟筆頭執行理事	

公益社団法人全日本広告連盟 組織図



Ⅲ. 業務執行体制等

令和2年度は、「内部統制システム整備に関する基本方針」に基づき、法人業務の適正を確保するため「公益通報者保護規程」の運用状況について監査を行った。

公益社団法人全日本広告連盟 内部統制システム整備に関する基本方針

平成26年11月17日 制 定

平成27年11月11日 改 正

- 1 理事・使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制（一般法人法90条4項5号、同法施行規則14条4号）
 - (1) コンプライアンス体制の基礎として、倫理規程、公益通報者保護規程等の規程を定め、職員（事務局業務を委託している公益社団法人東京広告協会の職員を指す。以下同じ。）相互間の適切な監督体制を創設する。
 - (2) 理事が他の理事の法令・定款違反行為を発見した場合は、直ちに監事に報告するなどガバナンス体制を強化する。
 - (3) 職員の法令・定款違反行為については、公益社団法人東京広告協会に対してその就業規則に従って処分を行うことを求める。
 - (4) 監事は、監事監査規程に基づき、理事会への出席、業務執行状況の調査などを通じ、理事の職務執行の監査を行う。
- 2 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制（一般法人法施行規則14条1号）
 - (1) 理事は、社員総会、理事会その他重要な会議の議事録を、法令及び関係規程に従い作成し、適切に保存・管理する。
 - (2) 理事長及び業務執行理事は、法令に従い自己の職務の執行状況を理事会に報告する。
 - (3) 理事は、文書管理規程に従い、法人の事業運営及び業務執行に関わる重要な情報、決定事項、内部規程・規則等は適切に保存し、管理する。
 - (4) 理事及び監事は、いつでもこれらの情報を閲覧又は謄写することができる。
- 3 損失の危険の管理に関する規程その他の体制（一般法人法施行規則14条2号）
 - (1) リスク管理体制の基礎として、リスク管理規程を定め、個々のリスクについての管理責任者を決定し、同規程に従ったリスク管理体制を構築する。
 - (2) 不測の事態が発生した場合には、危機管理を所掌する組織として、理事長を本部長とする対策室を設置し、損害の拡大を防止しこれを最小限に止める体制を整える。
- 4 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制（一般法人法施行規則14条3号）
 - (1) 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制の基礎として、定例

理事会を原則年3回開催するほか、必要に応じて臨時理事会を開催する。

(2) 理事会の決定に基づく業務執行については、諸規程において、それぞれの責任者及びその権限、執行手続について定める。

(3) 理事は、必要な資源の配分の決定又は見直しを行い、効率的な運営を確保する。

5 監事の職務を補助すべき使用人に関する体制、当該使用人の理事からの独立性に関する事項及び監事の当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項（一般法人法施行規則14条5号、6号、7号）

(1) 監事はその職務を補助すべき使用人を置くことを求めたときは、当法人は職員から、監事補助者を任命するものとする。

(2) 当該職員は、職務執行に当たっては監事の指揮命令を受け、理事の指揮命令を受けない。

(3) 当該職員の人事評価・異動・懲戒については当法人の監事の事前同意を得た上で、機関決定し、理事からの独立性を確保する。

(4) 監事補助者は、業務の執行にかかる役職を兼務しないこととする。

6 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項（一般法人法施行規則14条10号）

(1) 監事の職務の執行について生ずる費用について、前払又は償還を求められた際には、必要な見積書又は証憑の提示を求め、会計処理規程に別に定める手続にしたがって処理することとする。その他の監事の職務の執行について生ずる費用又は債務の処理についても、これに準じることとする。

7 理事及び使用人が監事に報告するための体制その他の監事への報告に関する体制、当該報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制及び監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制（一般法人法施行規則14条8号、9号、11号）

(1) 理事及び使用人は当法人の業務又は業績に影響を与える重要な事項について監事にその都度報告する。前記にかかわらず、監事は、いつでも必要に応じて、理事及び使用人に対して報告を求めることができる。

(2) 理事は、公益通報者保護規程を定め、その適切な運用を維持することにより、法令違反その他コンプライアンス上の問題について、監事への適切な報告体制を確保する。

(3) 監事は、必要に応じて、理事会その他の重要な会議に出席し、当法人の業務執行に関する報告を受けることができる。

(4) 監査を実効的に行うために、理事長との間で適宜に意見交換を行う。

（平成26年11月17日 理事会決議）

（平成27年11月11日 理事会決議）

附属明細書

重要な事項はすべて事業報告に記載した。